

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年4月30日

事業所名 児童発達支援 翔 はばたき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		庭も活用している	運動面では近くのグラウンドや体育館などを活用していく
	2	職員の配置数は適切である	○		児童2人につきスタッフ1名配置	配置数は適切です
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	児童が解りやすい環境を整えている	建築関係者やスタッフ達とバリアフリーに近い改修と改善を図るよう努めます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		手洗い、うがいを徹底している	生活習慣の基本を重視し遊具の消毒や整理整頓している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		イベント時や送迎時にも意見収集している	イベントや課外活動を通じて保護者の意向等把握に努めている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		リタリコではブログ公開	ホームページで公開している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	ホームページ、リタリコ発達ナビでのブログやFacebookなどで情報公開
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	研修等で業務改善に活かしている	各他業種との業務連携を図り業務改善につなげています
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		府や市の研修に参加	実務に時間を取られてしまうが効率的な運営を目指す
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		関係機関と連絡を密にしている	常に医療、学校、家庭での様子の評価を計画作成に活かせるように努める
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		常に行動観察している	家庭での様子、学校での様子の聞き取りと、事業所での行動観察の結果を利用している
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		本人、家族の希望に出来る限り添える様にしている	ガイドラインに従って個々のニーズに応じ具体的な目標設定に努めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別的配慮に努めている	相談支援事業所からアドバイスをして頂きます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	毎日協議している	支援計画に基づき個人個人の成長につながるプログラムの立案に努める
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		外出、イベント	固定化しない様に買い物や調理実習、運動等取り入れプログラムの実践と改善に努める
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			他事業所、家庭、学校などの活動を考慮し社会性の向上をメインに支援しながら個別対応しています

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の送迎表作成	毎日の送迎、支援担当を確認し伝達事項等に漏れがないか確認しています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		情報共有	良いこと悪いことなど気付いた事を共有する時間を設けています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日誌	個々の記録を見て問題点があれば改善につなげる様努めている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングの内容をサービス内容に反映する様にしている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		一番関りの深いスタッフの参加	担当者会議など色々な機会を通じて関係機関、事業所等の担当者間のつながりを深めています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		母子会の会員と交流している	関係機関との情報を共有し連携が深まる様努めます
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		喀痰吸引第3号研修等	看護師を配置し主治医より指示書を出して頂きそれに沿った支援を行っている
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		喀痰吸引第3号研修等	看護師を配置し主治医より指示書を出して頂きそれに沿った支援を行っている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			定期的に情報の共有を図っていきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	定期的に情報の共有を図っている	関係機関と連携を密にし相互理解に努める
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		積極的に研修に参加している	専門機関との連携を助け助言を受け専門的な知識をもつ様努めます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	地域のイベント等に参加している	保育所や小学校との交流する機会を増やしていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		管理者、児発管が参加している	協議会はないが市や関係機関から連絡助言を受けている
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時やイベント等で直接お会いした時に伝えています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		ペアレントトレーニングの支援が行える様努めます
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明	加算等の負担なし。休日昼食代200円、おやつ代50円は請求しています	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を作成し説明、同意を状況が変化した時も臨機応変に対応する事を伝えている	個別支援計画は本人又は保護者の希望に添える様努めます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		電話やメールなどで対応している	定期的に関係機関と情報を共有して必要な助言と支援を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	イベント等で	父母の会は有りませんが、今後視野に入れて検討します
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情処理担当者を定めて対応している。相談はいつでも対応	苦情が出れば即対応し、事業所内で報告、連絡、相談の連携体制を回り迅速に対応できる様つとめます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		季節の行事を行っている	会報等は発行していないが、ブログやFacebookなどに掲載しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		条例や法人の規定に従い注意している	定期的にはスタッフにも確認しています
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		色んな手段でコミュニケーションをとっている	障がいの形態によって配慮しています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		参加している	地域の行事や市のイベント等に参加しています
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	誤嚥やCPRの実習を行っている	公的機関で実技講習などに参加し即対応できる様努めています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	交通安全研修を行っている	消防署と連携して避難訓練等は行っていないが、できるところまで事業所で行っている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		保護者から確認。マニュアルあり	医師の指示書を基に適切な対応を心がけている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に聞き取りをしている	アレルギーのある子どもには医師の指示書に基づき保護者の説明
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例を収集、情報共有している	最大の注意を払います。事例を記録に残しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		大阪府や市の研修に参加している	人権に関する意識の向上を図るため研修を受けている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束は行っていない	保護者とも意思の疎通を図り身体拘束についての理解を深める

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。